

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

↑
取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
I. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	会社としての理念があり、又事業所毎にも理念があり、その理念を基に事業推進している	○	個人として尊重し、プライバシーを守り且つ生甲斐ある生活をして頂ける様にサポートし、更なるサービスの向上に努めてゆきたい
2	<input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	日々の仕事を通じ理念の実践を行っているが、スタッフ会議などで改めて再確認を行っている	○	日々の業務の中で実践している 又、スタッフ会議や昼食時等一寸した時間を活用し行っている
3	<input type="checkbox"/> 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	家族会・運営推進会議及び自治会の催し等折に触れ参加し地域の方々とも弊社の理念等に関し話をしている	○	当施設の土地建物所有者の協力もあり、地域との繋がりが高い 積極的に地域の催し物に参加したり、家族会・運営推進会議等で交流を深めている
2. 地域との支えあい				
4	<input type="checkbox"/> 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	日常の挨拶や声掛・散歩時等の会話・行事のお知らせ・地域商店の積極活用等を通じ日常のお付き合いをしている	○	玄関周りに草花・観葉植物等を植え会話しやすい環境作りにも努力している
5	<input type="checkbox"/> 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域自治会に加入している 運営推進会議メンバーに自治会長・近隣住民にも参加頂いている 盆踊り・秋祭り・敬老会・運動会等に参加し交流に努めている	○	地域主催の諸行事(盆踊り・秋祭り・敬老会・運動会等)には積極的に参加する様心掛けている

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	職員の研修会に地域の自治会に呼び掛け共に学ぶ機会の提供 又、地域住民の介護相談にのっている	○	事業所を開放し、地域住民を迎え入れる等地域と交流出来る開拓等発想を柔軟にし取り組んでゆく 地域住民の介護相談を受けている
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価を通じ適切なサービス提供の実施状況を点検し、実態把握を行う 更に外部評価によりサービスの仕組が働いているか・理念が具現化されているかを気づき・省みるきっかけとし、更なる改善に取り組んでいる	○	開所より3年たち、毎年外部評価・自己評価を実施し、必要に応じより良い介護の実践に取り組んでいる
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	概ね2ヶ月に1回実施しており、当グループホームのサービスの内容を明らかにすると共に、必要な要望や助言を聴く機会とし、地域に開かれたサービスとしての質の向上へと活かしている	○	運営推進会議を通じ、地域社会の一員として外部の方々の意見・提案を受け入れより一層の運営に心掛けている
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	平塚市介護保険課と常に情報交換すると共に地域包括支援センターとも連携してサービス向上に取り組んでいる 又、市が主催する講演会や研修にも積極的に職員を参加させている 介護相談員を受け入れている	○	介護相談員を受け入れている
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	県・市の実施する権利擁護事業の研修会に積極的に参加 拘束委員会も開催し権利擁護についてはスタッフの意識は高い	○	今後とも権利擁護事業の意識向上に努めたい 拘束委員会の継続・スタッフの研修派遣 スタッフ会議での権利擁護教育充実
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	利用契約書・重要事項説明書に明記すると共に常にご利用者の人権や個人としての尊厳を大切にしている 虐待・拘束の厳禁を職員に徹底している	○	高齢者虐待防止教育の徹底と継続 外部研修会への積極参加促進

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用契約時には重要事項説明書を基に納得のいくまで説明を行い書面により同意を得ている	○ 入所契約時にしっかりと説明し、理解納得頂いている
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	年2回の家族会や日々随時の面会時自由に意見が言える様努めている 又、目安箱も設置し匿名性も確保している ご利用者の希望はケアプランに入れ実行したりご本人・ご家族に話しをしている	○ 家族会・面会・行事等の機会に意見を聞く様努めている 又、ケアプラン等に対してはご本人・ご家族にご希望を伺っている
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	月1回、日用品費収支報告をご家族に送付の際、日頃の暮らし・健康状態を報告している 急変時はその都度緊密に電話連絡をとっている	○ 毎月定例でご利用者の日頃の様子を報告 面会時や行事参加の時にも詳しく報告に努めている 急変時には必ず電話連絡をとり、状況認識の共有化を図っている
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	主に家族会・行事参加時・随時面会時に忌憚りの無いご意見を頂く様にしている 頂いた意見は前向きに受け止め、日々の運営に反映させている 公的機関への苦情申し出も出来る様申し出先を判り易く掲示している	○ あらゆる機会を利用してご家族のご意見・ご要望を傾聴し、改善・運営に努めている 家族会でも忌憚りなく意見が言える雰囲気が出来上がっている
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	スタッフ会議(毎月一回定例開催)や定期的に行われるカンファレンス、個々のケアプラン作成会議においてスタッフ一人一人の意見を尊重し、サービスの提供に反映させている	○ スタッフの意見を傾聴し運営に活かしている
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	スタッフの1ヶ月の予定を把握すると共にご利用者の変化に対応出来る様調整に努めている 又、諸行事にも対応出来る様勤務編成するなど柔軟に対応している	○ 常に情報の共有化とスタッフ間の話し合い、助け合える相互信頼関係が築かれており、決められたシフト以外でも臨機応変にスタッフの調整が出来ている
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	意義を理解し、職員の異動は必要最小限に抑えている 異動の場合はご利用者の負担とならぬ様、チームワークで日常生活に変化が生じない様配慮している	○ 異動があっても日常生活にいつもと変わらぬ様自然体でゆきたい

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>管理者研修・管理候補者研修・エルダー研修・ケアマネ勉強会 社外認知症介護実践者研修、 更には各種資格取得支援金制度など人材育成に積極的に取り組んでいる</p>	<p>○</p> <p>研修においては高いレベルで仕組と実践がなされていると自負している</p>
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>平塚市グループホーム連絡会に加入し人事交流・研修・意見交換をすると共に、相互訪問などで啓発に努めている</p>	<p>○</p> <p>連絡会が主催する定例会議・勉強会・相互訪問等に積極的に参加し、情報交換や共有する機会を通じサービスの質向上に取り組んでいる</p>
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>可能な限りスタッフのストレス軽減に向け、休暇を取得出来る様配慮したり、悩みを聞いたり軽減に努めている 又、全員が一堂に会せる飲食会なども開催して環境作りを行っている</p>	<p>○</p> <p>休暇取得に配慮している 又、業務の性格上全員が一堂に会する機会が少ないので機会作りに配慮している</p>
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>自主的に挑戦できるような情報の提供・挑戦を促す個別指導・育成方向に必要な資格取得への啓発など積極的に行っている 又、全社的に資格取得支援金制度が確立されている</p>	<p>○</p> <p>スタッフレベルアップの為勉強会・研修会への参加を促し派遣している 又、向上心を持てる様に評価し次のステップへ進める様働きかけを行っている 職員個々の努力や実績・意欲等が賃金に反映できる仕組を持っている</p>
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>入所事前相談時よりご利用者が持っている不安・困難・疑問に時間を掛けてお聞きし、「傾聴と受容」に徹して信頼関係を築く様努めている</p>	<p>○</p> <p>ご家族の一番困っている事・心配事等時間を掛けてお聞きすると共に、必要と思われる情報も積極的に提供する様努めている 「傾聴と受容」の姿勢を忘れぬ事を心掛けている</p>
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>同上</p>	<p>○</p> <p>同上</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談をじっくりお聞きし、グループホーム入居が適切か・在宅で他の介護保険サービス利用がベターか・その他の施設利用が良いかを親身になって見極め助言している	○	サービスの種類・メリットデメリット・費用比較・留意事項などきめ細かく情報を提供し、相談者が適切な判断が出来る様心掛けている
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居にあたり何事においても環境変化があまり無い様に工夫をしている ベッドの向き・慣れ親しんだ調度品(茶碗・箸・カレンダー・筆筒・鏡等)を設置する様にしている	○	ご利用者が入居に当たり不安にならない様環境変化が最小限ですむ様配慮している
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	人生の先輩であるご利用者から雑巾の縫い方や米の研ぎ方を教わったり あるいは新しい調理の方法を学び、相互に支え合う関係を築いている	○	(例) 食事づくりに於いては、酢飯の作り方・赤飯の炊き方・漬物作りなど人生の先輩・豊富な経験者であるご利用者からスタッフは教わる事が多い
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ご利用者・ご家族と一緒に行事等に参加して頂き、共通の話題や連帯感を持つ機会を沢山設け、喜びも悲しみも一緒に味わえる仲間意識の醸成に努めている	○	ご家族の来訪時には必ず時間を取ってご利用者の状況を詳しく説明し、又その機会にご家族からの要望等も聴取している
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家族会・面会・諸行事・食事会等に参加頂く事により、相互理解と 良い関係の構築が進む様支援している	○	行事・外食会等ご連絡し自由に参加して頂ける様にしている
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご利用者が今迄の暮らしや生き方を大切にしてお暮らし頂ける様に家族・親族・友人と自由に交流できるよう訪問を歓迎し、又行事等への参加呼び掛けも行っている	○	家族・親族・友人・近隣の方との交流がスムーズに出来、又長続き出来る様温かい雰囲気作りや環境作りに努力している
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	ご利用者一人一人の理解を深め、ご利用者が孤立しないで交流出来る様スタッフは配慮している (例 食事の席・外出時の車同席・趣味・ゲームや行事の組合せ)	○	下膳の協力・散歩時の車椅子押し等ご利用者間での助け合いがあったり、仲良しのご利用者間での会話がスムーズに行われる様席の配慮も行っている

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退去されたご利用者の家族がいつでも相談して来られる様、退去時に話しをしている 又、相談に乗っている	○	入院先のソーシャルワーカーへの相談助言 受け入れ先への相談の仕方をご家族に指導助言したり、又ご家族に代わって対応し方向先を探す協力を行っている
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご利用者とユックリ話す時間を作るよう心がけ、その中から思いや考えを引き出し汲み取る努力をしている 又、ケアプランに反映している	○	ご利用者一人一人の希望・家族の想いを傾聴し、ご利用者本意をケアプランに反映させている
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時にご家族や親族から情報を知らせて頂いたり少しずつご利用者自身から生活歴や暮らしぶりを聞き、サービス利用の把握に努めている	○	ご家族との対話を大切にし、これまでの生活についての情報を得ながら個人の生活を大切に支援している
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	食事量・水分量やバイメタル等で身体状況を把握し、言動からメンタル面を把握、又それぞれの役割の動きから能力の変化等を把握するように努めている	○	毎日のバイタルチェック・食事の摂取量・水分量・排泄をチェックし、きめ細かく把握し一人一人の過ごし方を考慮している
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ご本人や家族に生活上の変化や気づき等を解りやすく情報提供し、介護計画作成にも参加頂きその人らしい生活が継続出来る様に、個人の特性を尊重したケアプランを作成している	○	ケアカンファレンスを開き都合がつけば家族も同席頂き、意見やアイデアを反映したケアプラン作成を心掛けている
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	ケアプランのモニタリングは毎月見直しを行っている 3ヶ月ごとにケアプランを作成し更新を行っている 入退院時、又は、変化のあった時、現状に合った計画を作成している	○	ご利用者の入退院・変化のあった時は必ずご家族に連絡している 現状にあったケアプランを作成し直している

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	いつもと違う言動は記録に残すだけでなく全スタッフと共有し、カンファレンス時の情報として今後の方向性を見直しに活かしている	○	日々の様子は個人ケース記録に毎日記載され、情報の共有化がなされケアプランに活かされている 地域包括支援センター行事にも参加してゆきたい
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ご家族の希望によりご利用者と一緒に宿泊して頂いたり、簡単なリハビリにも参加して頂いている	○	自由に宿泊して頂いている 又、リハビリにも参加して頂いている
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	自治会・近隣住民・地域包括支援センター・スタッフ等が参加する運営推進会議、地域ボランティアの参加、救急救命講習や防災訓練で御協力頂いている消防署等地域との協働が進んでいる	○	救急救命講習・口腔ケア・介護相談等地域資源を活用し地域住民の方々にも参加を呼び掛けている 今後更に保育園・幼稚園・小学校等との交流を進めたい
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	整形外科医より意見書を頂いた方はアメニティサービスを利用したり口腔ケア等で歯科医・歯科衛生士に指導を受けている	○	口腔ケア・アメニティサービスは継続してゆく
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターとの協働は主に運営推進会議、地域権利事業等情報交換している	○	運営推進会議・介護予防、地域権利事業について引き続き協働関係を維持して行きたい 地域包括支援センターの行事にも参加してゆきたい
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ホームドクターとの関係はとても良好で何でも相談に乗って頂ける関係になっている	○	協力医療機関との連携を常に行っており密接に連絡を取り合っている

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	物忘れ外来・サテライトクリニックのドクターとスタッフが相談したり、受診・入院等良好な関係構築が出来上がっている	○	サテライトクリニック・平塚病院等良好な関係を保ち、意見・相談・入院等についてお願いしている
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	日常の健康管理や医療面については毎日きめ細かく支援されている	○	早期の段階で発見され、迅速な対応がなされている
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院に関しては医療機関と連携を密にし、早期退院に向けて情報交換・相談に努め支援している	○	入院はご利用者にとってダメージが大なので、早期に退院出来る様医療機関に理解して頂ける様働き掛けている
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化やターミナルケアについて、ご家族と良く意見交換を行い、今後の方針について共通認識を持つ様努力している	○	ターミナルケアについては社内全事業所で検討中である
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	重度化・終末期についての対応は家族の意向と事業所の意向とを共有化し、支援に取り組める様努力する	○	同上
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	ご本人がグループホームや自宅から別な居所に移り住む様な場合は、家族・親族と充分情報交換を行い精神的に不安にならない様に配慮する	○	グループホームより他に移動する時は、時間を掛けて不安定にならない様対応している

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用契約書に明記すると共に社内でも個人情報保護基本規程を制定し職員にプライバシー確保を徹底している ご利用者のプライバシーを損ねる様な声掛・記録が行われない様充分配慮している	○ 平成17年5月1日付で個人情報保護基本規程を制定し、全社に徹底している
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	日常生活の中で出来る限り自己決定や自己の思いを表出出来る様働きかけを行っている	○ 散髪・外出・入浴温度・薬味選択等本人が自己決定出来る様になっている
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご利用者の主体性を優先して業務を進め、ご利用者のペースが日々保たれる様支援している	○ 日々その人らしい暮らしが継続出来る様支援している
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	その人らしい身繕いやおしゃれが出来る様 又、理容美容は本人の望む髪型にしたり、好きな理美容院に出掛けている	○ 日々のオシャレや身繕いは幾つになっても大切な行為で、自分の個性が発揮出来る様支援している
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	嗜好調査を行い、なるべく希望に添った旬の食事を提供する様工夫したり、出来る事は手伝って頂いております	○ 毎年嗜好調査を実施、栄養士に分析・助言・指導を頂いている 少しでも美味しい食事を提供して行く努力を積み重ねている
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	本人の望むお酒・たばこは外食時に楽しんで頂いている 又、おやつ等は希望を聞き一緒に買い物に行き購入している	○ 出来る限り個別対応で好きな物が食べられる様支援している

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	ご利用者個々の排泄パターンを把握して必要な方には声掛、誘導、見守りを行い自立に向けた支援をしている	○	人前で尿意・便意の確認やあからさまなトイレ誘導はしない様配慮している
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一週間の入浴回数は特に制限せず、又入浴時間も午前・午後特に決めず、ご利用者の希望に合わせた時間帯で行っている	○	防水のCDプレーヤー等で好きな曲を流す等工夫し楽しんで頂いている
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	寝具を太陽に干し、シーツ・枕等清潔で気持ちよい状態で入眠・安眠出来る様配慮している 不眠時はスタッフが話し相手をしている	○	状況が許す限り気持ち良く睡眠が取れる様環境整備(音・温度・寝具・灯り等)を行っている
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	日常生活の中で自分で出来る事、役割として生活の中に組み入れハリのある生活を送れる様考慮している 毎月習字教室・絵手紙教室・音楽療法・歌の集い等趣味や特技を発揮できる場の提供も行っている	○	季節ごとの行事は大切に行っておりご家族の協力も得て、家庭的な雰囲気が保たれている (例 節分・ひな祭り・五月の節句・七夕等)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	外出し、買い物の楽しさやお金を使う楽しさを味わって頂き、個別対応で行っている 自己管理出来る方は自分でお金を所持している	○	個別対応している
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ご利用者の体調や天候に合わせて、散歩・買い物・ドライブ等気分転換が図れる様に努めている	○	ご利用者の希望を取り入れながら、季節の花見物やドライブに出掛けている 月に一度はご利用者全員で外食会にも出掛けている
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	ご家族との外食・外泊・旅行等行きたい所への訪問が実現できる様支援している	○	季節の行事・みかん狩り・いちご狩り・夏祭り・盆踊り等イベントにも積極的に参加外出している

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	携帯電話の所持は可能であり、ホームの電話も自由に利用する事が出来る 手紙を出されている方もいる	○	ご利用者によっては携帯電話を持ち、自由に連絡しあっている 手紙も自由にやり取りしている
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	家族・親族・知人・友人等馴染みの人々が、気軽にいつでも訪問や外出でき、心地良い雰囲気の中で団欒出来る様配慮している	○	誕生会やホームの行事にはご家族に自由に参加頂いている 年2回は家族会を開催し、多くの参加を得てコミュニケーションを取っている
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	利用契約書に明示すると共に「職員基本理念10か条」を制定しホームに掲示表明して、絶対に身体拘束を行わないケアの実践に取り組んでいる	○	身体拘束防止委員会を設け、定期的に会合を開き日頃より身体拘束を行わない指導がなされており、職員も理解行動している
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	1階フロアは鍵を掛けていないが玄関はセンサーで制御している (外は前が川・横は交通の激しい国道があり、事故に遭遇する可能性が高いため)	○	安全第一に考えている
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	スタッフはご利用者の所在が判り易い位置で執務出来る様配慮されており、明確に視野に入れ仕事に従事している	○	フロアスタッフが場所を離れる場合、必ず他のスタッフが交代する事になっている
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	個人の物品は本人が管理を行っているが、一人一人の日々の状態に応じて管理状況の把握を行ない、危険を防ぐ対応に努めている	○	薬・包丁・消毒用品・洗剤等は常に鍵の掛かる場所に保管
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	緊急時の対応・行方不明等の対応について文書化してホーム内に掲示し、全ての職員が対応できる 又、ヒヤリハット・事故報告書等にまとめ再発防止に努めている	○	防災避難訓練を年2回実施 事故防止マニュアル研修は常日頃行っている

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急時のマニュアルもあり、全職員は消防署が行う救急救命講習を受講しており、応急対応を行う事は可能である	○	毎年救急救命講習会を実施 緊急連絡網も作成整備されている 応援スタッフが近隣に在住している
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	ご利用者の避難訓練・職員の通報訓練や消火器取扱訓練は年2回実施され訓練を積んでいる 又防火管理者による自主点検が毎月実施されている	○	非常時にすぐ掛け付けられるスタッフが複数名在住している 地域の方々を含めた防災訓練が行われると心強い
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	ご利用者一人一人のリスクについて日常生活の中で把握し、ご家族に説明して対応を話し合っている	○	ご利用者の体調については面会時や電話等でタイムリーに伝え情報の共有化を図っている
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	バイタルチェックを毎日行っており、日常接する中で顔色や様子に注意し、状況を的確に把握している 変化があった場合は必ず家族に報告している	○	スタッフ間のチームワーク・連携・報告・相談を大切にし、一人の考えや想いだけで判断すること無く情報の共有と多角的な見方で対応してゆける様にしている
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬支援は慎重に取り扱い、誤薬にならない様教育が行われている 又、副作用については、薬の指示書をしっかりと読み頭に入れる様教育がなされている	○	スタッフは医師の指示通り服薬出来る様に支援しており、症状変化が認められた時にはセンター所長(看護師)の指示を受け対応している
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	便秘予防対策として、出来るだけ散歩等身体を動かす様にしており、野菜中心に植物繊維の多い物や、ヨーグルト等便秘に良いと言われているものを献立に取り入れている 水分補給もしっかりとされている	○	腹部マッサージや水分チェックを行っている 又、脱水にならない様に気配り・目配りしている
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	起床時及び食後の口腔ケアを励行し、声掛・見守り・一部介助にて清潔保持に努めている 職員は口腔ケアの大切さを理解している	○	口腔ケアは非常に大切で朝昼晩食後必ず実施している これによりご利用者が肺炎に掛からない様に努めている

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量・水分量・排泄の有無を記録を記録用紙に記入し、栄養バランス保持に注意し、毎週体重測定を実施して健康管理に配慮している	○	1日3食の食材に肉・魚・野菜・果物等を取り入れ栄養バランスを考え調理している 栄養士による食事チェックや栄養指導を受けている
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアルによる対応としている スタッフはインフルエンザ予防接種を受けご利用者もご家族の希望で接種している	○	会社から全事業所に向けて配布されているインフルエンザ・疥癬・肺炎・MRSA・ノロウイルス等の感染予防マニュアルで運用している
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食器・まな板・包丁・鍋等の消毒取り扱いマニュアルがあり、又食品は常に新鮮な品を使用 スタッフは全員検便を実施している	○	台所・調理用具等毎日消毒の他こまめに食材を購入し常に新鮮な食材の使用と管理に努めている エプロンは介護用と調理用を分けている
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関は明るく草花を配置し、近隣の人等が親しみやすい雰囲気が出ている 階段及び歩行状態の悪い方にはスロープ・手すりが用意されている	○	ご利用者・スタッフが協働して草花の管理・手伝いをしている
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間・台所・浴室・トイレ等十分な広さ・明るさ、木造で家具も親しみ易く季節の花々も置かれ、快適な生活が営まれる様工夫されている	○	環境整備をしっかりと行い、これからも清潔な環境で生活頂ける様努めてゆく
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合ったご利用者が談笑出来たり、又、ご利用者が孤立しない様配慮している ご利用者が思い思いの時間を過ごせる様居室や居間・和室を使える様配慮している	○	特にご利用者が孤立しない様目配り・気配りを大切にして支援している

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご利用者が今まで使い慣れ親しんだ品物やカレンダー等配置し、人によっては仏壇も設置され居心地良く生活出来る様配慮している	○	自宅にて過ごされた環境に少しでも近づける様支援している
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	部屋毎に温度・湿度計が設置され、リビングには加温器を置き常に換気をこまめに行っている	○	スタッフがしっかりとチェックし管理している
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	バリアフリーを意識して新築した建物で、手すりの設置は勿論、車椅子のご利用者も安全に生活出来る様に使い勝手の工夫がされている	○	開設時の設備(手すり・浴室・トイレ等)で生活しているも、運営推進会議の助言・指導を受けながら見直して行きたい
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	一人一人のADLをしっかりとチェックし、ご自分の持てる力を発揮出来る様ケアプランに取り入れている	○	一人一人そのときの状況に応じた介助を柔軟に行っている 又、メモや日記等を書いて頂く事で確認し混乱の無い様サポートしている
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	外回りには、菜園や花壇があり、天気の良い日には水遣り・草取り・収穫を楽しんでいる	○	小さな菜園で季節ごとの野菜作り・花作りを楽しんでいる 又、2階ベランダでは日光浴を楽しんでいる

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

↑
取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	○	個人として尊重し、プライバシーを守り且つ生甲斐ある生活をして頂ける様にサポートし、更なるサービスの向上に努めてゆきたい
2	<input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	○	日々の業務の中で実践している 又、スタッフ会議や昼食時等一寸した時間を活用し行っている
3	<input type="checkbox"/> 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	○	当施設の土地建物所有者の協力もあり、地域との繋がりが高い 積極的に地域の催し物に参加したり、家族会・運営推進会議等で交流を深めている
2. 地域との支えあい			
4	<input type="checkbox"/> 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	○	玄関周りに草花・観葉植物等を植え会話しやすい環境作りにも努力している 気軽に立ち寄ってもらえる様な付き合いに心掛けている
5	<input type="checkbox"/> 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	○	地域主催の諸行事(盆踊り・秋祭り・敬老会・運動会等)には積極的に参加している

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	職員の研修会に地域の自治会に呼び掛け共に学ぶ機会の提供 又、地域住民の介護相談にのっている	○	事業所を開放し、地域住民を迎え入れる等地域と交流出来る開拓等発想を柔軟にし取り組んでゆく 地域住民の介護相談を受けている
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価を通じ適切なサービス提供の実施状況を点検し、実態把握を行う 更に外部評価によりサービスの仕組が働いているか・理念が具現化されているかを気づき・省みるきっかけとし、更なる改善に取り組んでいる	○	開所より3年たち、毎年外部評価・自己評価を実施し、必要に応じより良い介護の実践に取り組んでいる
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	概ね2ヶ月に1回実施しており、当グループホームのサービスの内容を明らかにすると共に、必要な要望や助言を聴く機会とし、地域に開かれたサービスとしての質の向上へと活かしている	○	運営推進会議を通じ、地域社会の一員として外部の方々の意見・提案を受け入れより一層の運営に心掛けている
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	平塚市介護保険課と常に情報交換すると共に地域包括支援センターとも連携してサービス向上に取り組んでいる 又、市が主催する講演会や研修にも積極的に職員を参加させている 介護相談員を受け入れている	○	介護相談員を受け入れている
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	県・市の実施する権利擁護事業の研修会に積極的に参加 拘束委員会も開催し権利擁護についてはスタッフの意識は高い	○	今後とも権利擁護事業の意識向上に努めたい 拘束委員会の継続・スタッフの研修派遣 スタッフ会議での権利擁護教育充実
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	利用契約書・重要事項説明書に明記すると共に常に御利用者の人権や個人としての尊厳を大切にしている 虐待・拘束の厳禁を職員に徹底している	○	高齢者虐待防止教育の徹底と継続 外部研修会への積極参加促進

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用契約時には重要事項説明書を基に説明を行い納得頂いた上で契約している	○ 入所契約時にしっかりと説明し、質問にも丁寧に答え理解納得頂いている
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	年2回の家族会や日々随時の面会時自由に意見が言える様努めている 又、目安箱も設置し匿名性も確保している ご利用者の希望はケアプラン作成実行したりご本人・ご家族に話しをしている	○ 家族会・面会・行事等の機会に意見を聞く様努めている 又、ケアプラン等に対してはご本人・ご家族にご希望を伺っている
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	月1回、日用品費収支報告をご家族に送付の際、日頃の暮らし・健康状態を報告している 急変時はその都度緊密に電話連絡をとっている	○ 毎月定例で御利用者の日頃の様子を報告面会時や行事参加の時にも詳しく報告に努めている 急変時には必ず電話連絡をとり、状況認識の共有化を図っている
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	主に家族会・行事参加時・随時面会時に忌憚りの無いご意見を頂く様にしている 頂いた意見は前向きに受け止め、日々の運営に反映させている 公的機関への苦情申し出も出来る様申し出先を判り易く掲示している	○ あらゆる機会を利用してご家族のご意見・ご要望を傾聴し、改善・運営に努めている
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	スタッフ会議(毎月一回定例開催)や毎日の申し送りの中で意見交換は行われており、又要望書の提出も行われている	○ スタッフの意見を傾聴し運営に活かしている
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	スタッフの1ヶ月の予定を把握すると共にご利用者の変化に対応出来る様調整に努めている 又、諸行事にも対応出来る様勤務編成するなど柔軟に対応している	○ 常に情報の共有化とスタッフ間の話し合い、助け合える相互信頼関係が築かれており、決められたシフト以外でも臨機応変にスタッフの調整が出来ている
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	意義を理解し、職員の異動は必要最小限に抑えている 異動の場合は御利用者の負担とならぬ様、チームワークで日常生活に変化が生じない様配慮している	○ 異動があってもご利用者に精神的ダメージが無い様スタッフは配慮している

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>管理者研修・管理候補者研修・エルダー研修・ケアマネ勉強会 社外認知症介護実践者研修、 更には各種資格取得支援金制度など人材育成に積極的に取り組んでいる</p>	<p>○</p> <p>会社自体も積極的に教育メニューを揃え、計画的に職員教育に取り組んでいる 研修においては高いレベルで仕組と実践がなされていると自負している</p>
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>平塚市グループホーム連絡会に加入し人事交流・研修・意見交換をすると共に、相互訪問などで啓発に努めている</p>	<p>○</p> <p>連絡会が主催する定例会議・勉強会・相互訪問等に積極的に参加し、情報交換や共有する機会を通じサービスの質向上に取り組んでいる</p>
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>可能な限りスタッフのストレス軽減に向け、休暇を取得出来る様配慮したり、悩みを聞いたり軽減に努めている 又、全員が一堂に会せる飲食会なども開催して環境作りを行っている</p>	<p>○</p> <p>有給休暇は自由に取得出来る 又、業務の性格上全員が一堂に会する機会が少ないので機会作りに配慮している</p>
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>自主的に挑戦できるような情報の提供・挑戦を促す個別指導・育成方向に必要な資格取得への啓発など積極的に行っている 又、全社的に資格取得支援金制度が確立されている</p>	<p>○</p> <p>スタッフレベルアップの為勉強会・研修会への参加を促し派遣している 又、向上心を持てる様に評価し次のステップへ進める様働きかけを行っている 職員個々の努力や実績・意欲等が賃金に反映できる仕組を持っている</p>
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>入所事前相談時よりご利用者が持っている不安・困難・疑問に時間を掛けてお聞きし、「傾聴と受容」に徹して信頼関係を築く様努めている 同じ目線に立ち穏やかな言葉や態度で受け止めている</p>	<p>○</p> <p>ご家族の一番困っている事・心配事等時間を掛けてお聞きすると共に、必要と思われる情報も積極的に提供する様努めている 「傾聴と受容」の姿勢を忘れぬ事を心掛けている</p>
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>同上</p>	<p>○</p> <p>面会時・家族会・電話等で相談・悩み事を受けている</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談をじっくりお聞きし、グループホーム入居が適切か・在宅で他の介護保険サービス利用がベターか・その他の施設利用が良いかを親身になって見極め助言している	○	サービスの種類・メリットデメリット・費用比較・留意事項などきめ細かく情報を提供し、ご本人・ご家族にとってどのサービスが最適なのか介護相談にのっている
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居にあたり何事においても環境変化があまり無い様に、以前からの生活を基に徐々に慣れて頂く様、部屋に馴染みの品物を置く等工夫している	○	ご利用者が入居に当たり不安にならない様環境変化が最小限ですむ様配慮している
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	人生の先輩であるご利用者から雑巾の縫い方や米の研ぎ方を教わったり あるいは新しい調理の方法を学び、相互に支え合う関係を築いている	○	(例) 食事づくりに於いては、酢飯の作り方・赤飯の炊き方・漬物作りなど人生の先輩・豊富な経験者であるご利用者から生活の知恵を戴いている
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ご利用者・ご家族と一緒に行事等に参加して頂き、共通の話題や連帯感を持つ機会を沢山設け、喜びも悲しみも一緒に味わえる仲間意識の醸成に努めている	○	家族も一緒に行事に参加頂き、職員と一緒にご利用者を支えて行く様にしている
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家族会・面会・諸行事・食事会等に参加頂く事により、相互理解と良い関係の構築が進む様支援している	○	行事・外食会等ご連絡し自由に参加して頂ける様にしている
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご利用者が今迄の暮らしや生き方を大切にしてお暮らし頂ける様に家族・親族・友人と自由に交流できるよう訪問を歓迎し、又行事等への参加呼び掛けも行っている	○	家族・親族・友人・近隣の方との交流がスムーズに出来、又長続き出来る様温かい雰囲気作りや環境作りに努力している
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	ご利用者一人一人の理解を深め、ご利用者が孤立しないで交流出来る様スタッフは配慮している (例 食事の席・外出時の車同席・趣味・ゲームや行事の組合せ)	○	気の合った仲の良いご利用者間では散歩を一緒にしたり、席の配慮を行う等孤立しない様スタッフは声掛けにも努めている

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退去されたご利用者の家族がいつでも相談して来られる様、退去時に話しをしている 又、相談に乗っている	○	退去後もどのように生活されているか電話等で連絡を取り合っている 困った事や相談はいつでも連絡頂く様にお伝えしている
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご利用者とユックリ話す時間を作るよう心がけ、その中から思いや考えを引き出し汲み取る努力をしている 又、ケアプランに反映している	○	ご利用者一人一人の希望・家族の想いを傾聴し、ご利用者本意をケアプランに反映させている
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時にご家族や親族から情報を知らせて頂いたり少しずつご利用者自身から生活歴や暮らしぶりを聞き、サービス利用の把握に努めている	○	これまでの生活についての情報を得ながら個人の生活を大切に支援している
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	ご利用者の現状や生活リズムを把握する様情報収集・聞き取り調査・アセスメントを行い総合的に把握している	○	毎日のバイタルチェック・食事の摂取量・水分量・排泄をチェックし、きめ細かく把握し一人一人の過ごし方を考慮している
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ご本人や家族に生活上の変化や気づき等を解りやすく情報提供し、介護計画作成にも参加頂きその人らしい生活が継続出来る様に、個人の特性を尊重したケアプランを作成している	○	ケアカンファレンスを開き都合がつけば家族も同席頂き、意見やアイデアを反映したケアプラン作成を心掛けている
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	ケアプランのモニタリングは毎月見直しを行っている 現状に変化が生じた時や入退院時は再びカンファレンスを行い介護計画を立てている	○	ご利用者の入退院・変化のあった時は必ずご家族に連絡すると共に、見直しを行い常に現状に即した計画になる様にしている

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の介護記録は個別に確実に記入し、スタッフ同士情報を共有している これをケアプランに活かしている	○	日々の様子は個人ケース記録に毎日記載され、情報の共有がなされケアプランに反映させている
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ご家族の希望によりご利用者と一緒に宿泊して頂いたり、簡単なリハビリにも参加して頂いている	○	自由に宿泊したりリハビリにも参加して頂いている
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	自治会・近隣住民・地域包括支援センター・スタッフ等が参加する運営推進会議、地域ボランティアの参加、救急救命講習や防災訓練で御協力頂いている消防署等地域との協働が進んでいる	○	救急救命講習・口腔ケア・介護相談等地域資源を活用し地域住民の方々にも参加を呼び掛けている 今後更に保育園・幼稚園・小学校等との交流を進めたい
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	整形外科医より意見書を頂いた方はアメニティサービスを利用したり口腔ケア等で歯科医・歯科衛生士に指導を受けている	○	口腔ケア・アメニティサービスは継続してゆく
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターとの協働は主に運営推進会議、地域権利事業等情報交換している	○	運営推進会議・介護予防、地域権利事業について引き続き協働関係を維持して行きたい 地域包括支援センターの行事にも参加してゆきたい
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月1回かかりつけ医に往診してもらっている 必要時はいつでも適切な診療を受けている	○	協力医療機関との連携を常に行っており密接に連絡を取り合っている

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	物忘れ外来・サテライトクリニックのドクターとスタッフが相談したり、受診・入院等良好な関係構築が出来上がっている	○	サテライトクリニック・平塚病院等良好な関係を保ち、意見・相談・入院等についてお願いしている
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	日常の健康管理や医療面については気軽に相談でき、きめ細かく支援されている 夜間・深夜でも対応してもらっている	○	早期の段階で発見され、迅速な対応がなされている
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院に関しては医療機関と連携を密にし、早期退院に向けて情報交換・相談に努め支援している	○	入院はご利用者にとってダメージが大なので、早期に退院出来る様医療機関に理解して頂ける様働き掛けている
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化やターミナルケアについて、ご家族と良く意見交換を行い、今後の方針について共通認識を持つ様努力している	○	ターミナルケアについては社内全事業所で検討中である
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	重度化・終末期についての対応は家族の意向と事業所の意向とを共有化し、支援に取り組める様努力する	○	同上
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	住替え時は、ケア関係者家族・親族と充分情報交換を行い精神心理的に不安にならない様に配慮する	○	グループホームより他に移動する時は、時間を掛けて不安定にならない様対応している

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用契約書に明記すると共に社内でも個人情報保護基本規程を制定し職員にプライバシー確保を徹底している	○ 平成17年5月1日付で個人情報保護基本規程を制定し、全社に徹底している
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援している	外出時の服装を選んだり・食事の味付け・入浴温度・髪型等スタッフが自己決定の場面を作って支援している	○ 日常生活の中で自分の思いの表出や自己決定出来る様動き掛けを行っている
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご利用者の主体性を優先して業務を進め、ご利用者のペースが日々保たれる様支援している	○ 日々その人らしい暮らしが継続出来る様支援している
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	その人らしい身繕いやおしゃれが出来る様 又、理容美容は本人の望む髪型にしたり、好きな理美容院に出掛けている	○ 日々のオシャレや身繕いは幾つになっても大切な行為で、自分の個性が発揮出来る様支援している
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ご利用者の嗜好調査を行い、なるべく希望に添った旬の食事を提供する様工夫したり、ご利用者と一緒に準備・食事・片付けをしてサポートしている	○ 毎年嗜好調査を実施、栄養士に分析・助言・指導を頂いている 少しでも美味しい食事を提供して行く努力を積み重ねている
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	本人の望むお酒・たばこは外食時に楽しんで頂いている 又、おやつ等は希望を聞き一緒に買い物に行き購入している	○ 出来る限り個別対応で好きな物が食べられる様支援している

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	ご利用者個々の排泄パターンを把握して必要な方には声掛、誘導、見守りを行い自立に向けた支援をし、失敗やオムツの使用を減らす様支援している	○	プライバシーや恥じらいの気持ちを大切にされた支援を心掛けている
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一週間の入浴回数は特に制限せず、又入浴時間もご利用者の希望に合わせた時間帯で行っている	○	個々に毎日の湯温や入浴時間又、入浴剤も決定して頂いている
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	不安により休めないご利用者にはスタッフが話し相手になったりしている 居室は安眠出来る様室温・照明・音・寝具の環境整備を行っている	○	気持ち良く睡眠が取れる様環境整備(音・温度・寝具・灯り等)を行い、ユッタリとした雰囲気作り心掛けている
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	日常生活の中で自分で出来る事、役割として生活の中に組み入れハリのある生活を送れる様考慮している 毎月習字教室・絵手紙教室・音楽療法・歌の集い等趣味や特技を発揮できる場の提供も行っている	○	季節ごとの行事は大切に行っておりご家族の協力も得て、家庭的な雰囲気が保たれている (例 節分・ひな祭り・五月の節句・七夕等)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個別対応であるが、外出し、買い物の楽しさやお金を使う楽しさを味わって頂いている	○	その人に合った援助がなされている
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ご利用者の体調や天候に合わせて、散歩・買い物・ドライブ等気分転換が図れる様に努めている	○	ご利用者の希望を取り入れながら、季節の花見物やドライブに出掛けている 月に一度はご利用者全員で外食会にも出掛けている
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	ご家族との外食・外泊・旅行等行きたい所への訪問が実現できる様支援している	○	季節の行事・みかん狩り・いちご狩り・夏祭り・盆踊り等イベントにも積極的に参加外出している

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	携帯電話の所持は可能であり、ホームの電話も自由に利用する事が出来る 手紙を出されている方もいる	○	ご利用者によっては携帯電話を持ち、自由に連絡しあっている 手紙も自由にやり取りしている
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	家族・親族・知人・友人等馴染みの人々が、気軽にいつでも訪問や外出でき、心地良い雰囲気の中で団欒出来る様配慮し、おもてなしの心を忘れない様心掛けている	○	誕生会やクリスマス・運動会等ホームの行事にはご家族に自由に参加頂いている 年2回は家族会を開催し、多くの参加を得てコミュニケーションを取っている
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	利用契約書に明示すると共に「職員基本理念10か条」を制定しホームに掲示表明して、絶対に身体拘束を行わないケアの実践に取り組んでいる	○	身体拘束防止委員会を設け、定期的に会合を開き日頃より身体拘束を行わない指導がなされており、職員も理解行動している
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関入口はセンサーで制御しているが、危険を伴わない場所の移動は自由である	○	安全確保に徹している
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	ご利用者のプライバシーに配慮しつつ、ご利用者の様子の把握に努め、常にご利用者を視野に入れたケアを行っている	○	フロアスタッフが場所を離れる場合、必ず他のスタッフが交代する事になっている
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	個人の物品は本人が管理を行っているが、一人一人の日々の状態に応じて管理状況の把握を行ない、危険を防ぐ対応に努めている	○	薬・包丁・消毒用品・洗剤等は常に鍵の掛かる場所に保管
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	緊急時の対応・行方不明等の対応について文書化してホーム内に掲示し、全ての職員が対応できる 又、ヒヤリハット・事故報告書等にまとめ再発防止に努めている	○	防災避難訓練を年2回実施 事故防止マニュアル研修は常日頃行っている

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急時のマニュアルもあり、全職員は消防署が行う救急救命講習を受講しており、応急対応を行う事は可能である	○	毎年救急救命講習会を実施 緊急連絡網も作成整備されている 応援スタッフが近隣に在住している
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	ご利用者の避難訓練・職員の通報訓練や消火器取扱訓練は年2回実施され訓練を積んでいる 又防火管理者による自主点検が毎月実施されている	○	非常時にすぐ掛け付けられるスタッフが複数名在住している 地域の方々を含めた防災訓練が行われると心強い
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	ご利用者一人一人のリスクについて日常生活の中で把握し、ご家族に説明して対応に納得を頂いている	○	ご利用者の体調については面会時や電話等でタイムリーに伝え情報の共有化を図っている
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	バイタルチェックを毎日行っており、日常接する中で顔色や様子に注意し、状況を的確に把握している 変化があった場合は必ず家族に報告している	○	申し送り等によりスタッフ間の情報共有化を大切にして、対応に遅れの無いようにしている
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬支援は慎重に取り扱い、誤薬にならない様教育が行われている 又、薬の目的や副作用・用法・用量について常にスタッフは勉強している	○	スタッフは医師の指示通り服薬出来る様に支援しており、症状変化が認められた時にはセンター所長の指示を受け対応している
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	便秘予防対策として、出来るだけ散歩等身体を動かす様にしており、野菜中心に植物繊維の多い物や、ヨーグルト等便秘に良いと言われているものを献立に取り入れている 水分補給もシッカリなされている	○	腹部マッサージや水分チェックを行っている 又、脱水にならない様に気配り・目配りしている
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	起床時及び食後の口腔ケアを励行し、声掛・見守り・一部介助にて清潔保持に努めている 職員は口腔ケアの大切さを理解している	○	口腔ケアは非常に大切で朝昼晩食後必ず実施しているので肺炎が無い

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量・水分量・排泄の有無を記録に残し、栄養バランス保持に注意し、毎週体重測定を実施して健康管理に配慮している	○	食事や水分補給に対し拒否の強い利用者への支援が難しいが工夫している
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症マニュアルを活用している スタッフはインフルエンザ予防接種を受けご利用者もご家族の希望で接種している	○	会社から全事業所に向けて配布されているインフルエンザ・疥癬・肺炎・MRSA・ノロウイルス等の感染予防マニュアルで運用している
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食器・まな板・包丁・鍋等の消毒取り扱いマニュアルがあり、又食品は常に新鮮な品を使用 スタッフは全員検便を実施している	○	台所・調理用具等毎日消毒の他こまめに食材を購入し常に新鮮な食材の使用と管理に努めている エプロンは介護用と調理用を分けている
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関は明るく草花を配置し、近隣の人等が親しみやすい雰囲気が出ている 階段及び歩行状態の悪い方にはスロープ・手すりが用意されている	○	ご利用者・スタッフが協働して草花の管理・手伝いをしている
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間・台所・浴室・トイレ等十分な広さ・明るさ、木造で家具も親しみ易く季節の花々も置かれ、快適な生活が営まれる様工夫されている	○	環境整備をしっかりと行い、これからも清潔な環境で生活頂ける様努めてゆく
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合ったご利用者が談笑出来たり又、ご利用者が孤立しない様配慮している ご利用者が思い思いの時間を過ごせる様居室や居間・和室を使える様配慮している	○	特にご利用者が孤立しない様目配り・気配りを大切にして支援している 孤立した時はスタッフが支援している

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご利用者が今まで使い慣れ親しんだ品物やカレンダー等配置し、人によっては仏壇も設置され居心地良く生活出来る様配慮している	○	自宅にて過ごされた環境に少しでも近づける様支援している
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	部屋毎に温度・湿度計が設置され、リビングには加温器を置き常に換気をこまめに行っている	○	スタッフがしっかりとチェックし管理している
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	バリアフリーを意識して新築した建物で、手すりの設置は勿論、車椅子のご利用者も安全に生活出来る様に使い勝手の工夫がされている	○	今後も必要性や助言を大切にしてい見直して行きたい
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	一人一人のADLをしっかりとチェックし、ご自分の持てる力を発揮出来る様ケアプランに取り入れている	○	一人一人の出来る事を見極めて臨機応変に対応している 出来る事・出来ない事を個別に把握している
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	外回りには、菜園や花壇があり、天気の良い日には水遣り・草取り・収穫を楽しんでいる ベランダでは洗濯物を干したり日光浴やガーデニングを楽しんでいる	○	プランターで季節ごとの花作りを楽しんでいる 又、ベランダでは日光浴を楽しんでいる